

平成 20 年 12 月 15 日

磐田市長 鈴木 望 様

磐田市の花・木・鳥等選定委員会
委員長 吉岡庸光

市の花・木・鳥等の選定について（報告）

本年 6 月 2 日から市の花・木・鳥等の選定について協議してまいりましたが、委員会での審議、市民アンケートの実施を経て、選定結果がまとまりましたので、下記のとおり報告します。

また、本委員会では市の歌の必要性についても検討してまいりました。このことについての委員会としての結論も併せて報告します。

記

1. 市の花 ツツジ

（選定理由）

見付の「つつじ公園」ほか、多くの公園や道路沿い、各家庭の庭先に植えられており、市民に親しまれている花です。特に、4 月中旬から約 3,500 株が咲き誇る「つつじ公園」は市民に強い印象を与えていることが、アンケート結果からも感じられました。



「市内全域でたくさん見ることができる花」という点で、ツツジが市の花として最もふさわしいと考えました。今後、春にはこの花が市内全域にあふれ、華やかに彩られることを期待します。

2. 市の木 クスノキ

(選定理由)

JR 磐田駅北口にある推定樹齢 700 年の県指定天然記念物「善導寺の大クス」があります。市内には、その他にも立派なクスノキが何本もありますが、やはり駅前の大クスが市民の皆さんにとって印象深い木であることが、アンケートを通じて改めて感じられました。



「市のシンボル」としての木を選定するという事で、市民が一番思い入れを持っている存在であるこの木を選定いたしました。また、市がこの木のように、大きくたくましく成長し、繁栄していくことを期待します。

3. 市の昆虫 ベッコウトンボ

(選定理由)

「市の鳥など」ということで、鳥に限らず生き物の範囲で選定を進めてきました。

アンケートでは、対象を鳥と昆虫の 5 種類で行いましたが、ベッコウトンボが市民から圧倒的な支持を得ました。磐田市には日本を代表するトンボの生息地である桶ヶ谷沼があり、また、その桶ヶ谷沼を代表するトンボが「ベッコウトンボ」であることから、市の象徴として選定することがふさわしいと考えます。絶滅危惧種に指定されている種であるため、自然環境保護のシンボルともなり、ベッコウトンボを絶やさず、市内のより広い地域にこのトンボが飛んでいるような自然豊かなまちづくりが進むことを期待します。

